

混雑緩和等に向けた取組の実施計画（中間とりまとめ案）

1. 短期的の取組（実施及び実施中）

■ 駐車場の利用状況の実態把握

- ・ アンケートの実施及びデータ整理・分析【実施中】
 - 混雑要因の分析と改善策等の検討・協議に向け、空港関係者と連携し、利用実態把握のため、アンケート調査やデータ収集等を実施（R7.7～）。アンケート調査（中間報告）において「利用料金を上げてほしいので駐車台数を増やしてほしい」と約6割の者が回答。＜鹿児島県＞
- ・ より詳細な駐車場の利用実態データ整理・分析【実施中】
 - 駐車場の利用実態をより正確に多角的に情報を把握するため、利用実績を整理・分析（R7.9実施済）。＜駐車場運営者＞

■ 駐車場内の車両の円滑な誘導、安全確保

- ・ 夏期繁忙期対策【実施済】
 - 臨時駐車場の容量拡大＜駐車場運営者＞
駐車枠の不具合改修及び効率的な配置の再整備による駐車枠拡大を実施。（R7.5実施済）
 - 夏期繁忙期における警備員の増員配置＜駐車場運営者＞
週末より警備員を増員配置し、駐車場内の誘導、出入口の車列整理、チラシ配布等を実施（R7.7～8 実施済）。
 - 空港HPでの混雑状況のリアルタイム表示等 ＜駐車場運営者＞
混雑状況（満車、混雑、空車）、残台数等の詳細情報及び周辺民間駐車場のマップを追加（R7.8 実施済）。
- ・ 監視カメラの増設【実施中】
 - 空き駐車枠を判別し、警備員による円滑な誘導を行うため増設＜駐車場運営者＞
空き駐車枠や混雑状況の詳細把握及び管理事務所と警備員との連携強化による円滑な誘導を行うため、監視カメラの増設工事を実施し、一部増設済み（R7.11）。年度内に全設置完了を予定。
- ・ 臨時駐車場の開放状況案内システム整備【実施中】
 - 駐車場へより円滑な誘導を行うため、国道に設置している満空表示盤2か所に臨時駐車場の開放状況を表示できるようシステムを整備（R8～供用開始予定）。

混雑緩和等に向けた取組の実施計画（中間とりまとめ案）

2. 短期的の取組

■ 駐車場内の車両の適正配置

- ・ 従業員駐車エリアの一般利用への転用促進【詳細検討中】
- ・ 泊車、従業員用としての臨時駐車場の活用【詳細検討中】
 - 年末年始に実施した従業員（空港職員用）駐車場の一般利用者への部分的開放を、令和7年2月から毎週末（土、日、祝）実施済。
検討会における移転決定の方向性を踏まえ、令和8年度からの従業員駐車場の一般利用者への開放を目指し、空港外の民間駐車場等を従業員用として活用できないか交渉するとともに、臨時駐車場（社有地）への移転も併せて検討中。
 - 今後の従業員駐車場の一般利用者への開放にあたり、利用者利便性向上に向け、一般利用者が利用可能な駐車場出口とするため、精算機器の更新を実施予定。＜駐車場運営者＞

■ 駐車場料金の見直し

- ・ 泊車料金の値上げ【詳細検討中】
- ・ 多客期料金の導入【詳細検討中】
 - 航空需要回復に伴い、GW、年末年始等の多客期における慢性的な混雑が発生している中、長時間利用者（泊車）が増加傾向にあり、駐車場の混雑を助長しているため、令和8年度から多客期料金及び泊車料金値上げを実施予定。
 - 上記に伴い、料金システムの改修を実施予定。＜駐車場運営者＞
- ・ 無料時間帯の短縮【検討中】
 - 今後、他施策との連携を踏まえ検討中。＜駐車場運営者＞

3. 中期的の取組

■ 駐車場の容量拡大（立駐化等）

- ・ 国による調査の実施【実施中】
 - 空港駐車場の混雑緩和に向け、令和7年10月から「鹿児島空港駐車場機能強化検討調査」を実施中。駐車場に関する課題を整理・抽出した上で、課題解決に向けた必要な駐車場機能強化策を検討し、令和8年2月に最終報告をとりまとめる予定。中間報告では、有効な駐車場の混雑緩和対策として「自走式立体駐車場整備」及び「料金体系の見直し」と報告を受けている。＜国＞